

第 1489 回例会報告

平成29年1月16日(木)晴れ

会長挨拶

会長 河西達雄

金子市長をお迎えして

はじめに、本日のお見えになっておりますお客様は、金子ゆかり諏訪市長様です。本日のことを、私は大変楽しみにしておりました。お客様のご紹介に普段は、あまり時間を割かないロータリーですが、今回は興奮のあまり少し詳しくご紹介申し上げあいさつに代えさせていただきます。

金子市長は長野県諏訪市出身、長野県諏訪二葉高等学校卒業、慶應義塾大学法学部政治学科卒業。同年、株式会社服部セイコーに就職という、素晴らしい経歴でございます。

1994年(平成6年)、母が重病の宣告を受け、看病のため退職し帰郷。父である金子県議会議員の秘書を務めました。1999年(平成11年)4月、長野県議会議員選挙に出馬し初当選。2007年(平成19年)に2選。2011年(平成23年)に3選。2015年(平成27年)1月18日、諏訪市長選挙への出馬を正式表明。4月、県議を辞職。4月19日公示、4月26日投票の諏訪市長選挙に無所属で出馬。無投票で初当選。これにより長野県内初めての女性市長が誕生した。

素晴らしいではありませんか。私は人を学歴など評価するという考えは全く持っていませんが、慶応大学へ入学したことよりも、その後県議の浪人中に早稲田大学大隈記念大学院公共経営研究科専門職学位課程公共経営学専攻修了。公共経

営修士(専門職)の学位を取得するという前向きな姿勢と勉強心にただ驚くばかりです。

公共経営修士(専門職)とはなんであるかよくわかりませんが、インターネットによると、公共経営修士(専門職)は、公共経営の分野の学位のこと。英語で MPA(Master of Public Administration)や MPM(Master of Public Management)と呼ぶ。日本では早稲田大学大学院公共経営研究科専門職学位課程において公共経営修士(専門職)という専門職学位が置かれているのみだが、米国では公共政策大学院などで授与する一般的な学位である。Public Management は「行政管理」と訳される傾向もあるが、「公共経営」と訳されることもある。他にも公共政策大学院の学位としては、公共政策修士(専門職)(MPP)などがあるとあります。

市長さんは、県議を浪人なさっている中でも、こうした勉強をなさり前向きに政治を他らえていることが良くわかり、ますます感心いたしました。

本日はよろしく願いいたします。

◇幹事報告◇

【理事会報告】

- 1) 2月の例会予定が次ページのように決定しました。
- 2). IM・PR 同行について
IM のPRにお伺いする三村委員長の同行者を募集しました
- 3) 出前講座実績報告書について
職業奉仕委員会、社会奉仕委員会など実績のある委員会は至急提出をお願いします。

■出席報告

会員数	37名
出席対象	36名
出席者数	30名
出席率	86.1%
前回修正	94.4%

■ニコニコBOX

5名	15,000円
累計	324,300円
目標額	60万円
達成率	54.1%

■今週のことば

金子市長さん本日は卓話よろしく願いいたします。
河西達雄

IM 開催につき河西会長、三村実行委員長をはじめとする会員の皆様のご尽力に感謝申し上げます。
共に感動を味わいましょう。ご協力のほどよろしくお願い致します
大澤邦彦ガバナー補佐



4) 糸魚川大火義捐金の件

2600地区からの要請により一人1000円の義捐金を総務費からお送りしました。

5) RIJYEC 承認の件

賛否は表明せず、検討を続けることとしました。

6) ユニセフ・書き損じはがきの回収について

担当の青少年奉仕委員会に委託しました

7) 寒河江さくらんぼRC姉妹クラブ募集の件

応募しません。

駅前開発、最終処分地問題、バイパス問題など申し送られた難問の解決に奮闘している姿に感動しました。

限られた紙面のため市長年頭の挨拶を記載させていただき当日の記事に代えさせていただきます。



去年は、7年に一度の御柱祭が諏訪全域で盛大に開催され、私も氏子の一人として多くの御柱祭に参加させていただきました。氏子のみなさまはもちろん、地域コミュニティーの絆が強くなったと感じられる一年でありました。

本年度は、第五

次諏訪市総合計画の前期基本計画の終了年です。この5年間のまとめを行うとともに、住民懇談会や各種団体、高校生との意見交換会などを開催してみなさまのご意見やご要望を反映しつつ、平成29年度から5年間の後期計画を策定しています。まち・ひと・しごと創生総合戦略と併せて、「透明度日本一のまち輝く SUWA」の実現に向けて取り組んでまいります。

上諏訪駅前の開発については、イメージテーマを「さわやかな風と翠のときめき」に決定し、開発事業者へ昨年8月に申し入れました。近いうちに、このテーマに合った開発の具体像が示されるものと期待しています。さらに、駅周辺市街地あり方検討会を通じて、駅舎の橋上化について研究を進めることになりました。今後も駅前開発の進捗状況を共有し、駅周辺市街地の未来像について検討してまいります。

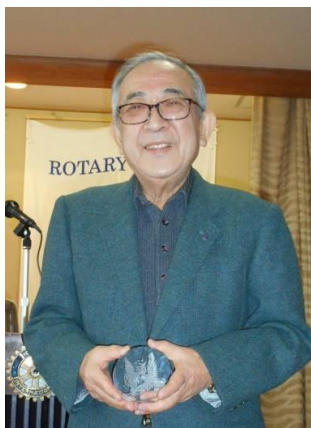
また、国道20号諏訪バイパスについて、国が昨年11月に対応方針を決定し、大きな一歩を踏み出しました。みなさまのご尽力に感謝申し上げますとともに、引き続き地元地区をはじめ関係のみなさまと連携して、着実に前進してまいります。

市政の課題は少子超高齢化など多岐にわたりますが、新たな気持ちで市民や諏訪圏域のみなさまと力を合わせて、ここに住んで良かったと思える諏訪のまちの実現に全身全霊で取り組んでまいります。一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

月	日	回数	内容	担当
2月	2	1491	セブ島報告	国際奉仕
	9	1492	諏訪湖浄化運動について	社会奉仕
	16	1493	新春卓話(岡谷市長)	会長・幹事
	23	1494	IM実行委員会 事前打ち合わせ	IM実行委員会
	26	1495	IM	IM実行委員会
3月	2	1496	会員健康診断と健康卓話	職業奉仕

メジャードナー伝達式

溝口幸二会委員がメジャードナーになられ、その記念のクリスタル盾(溝口会員と奥様の名前が刻まれています)ペンダント、バッジが届きましたので伝達しました。



メジャードナーはロータリー財団への個人寄付が1万ドルに達した会員に贈られるもので、諏訪湖クラブでは、小松孝弘会員、渡邊芳紀会員に続く3人目の快挙です。

今後は、ポールハリスフェローの表彰がなくなりますが、引き続きご協力を願います。

第 1489 回例会

金子諏訪市長新春卓話

担当 会長・幹事